

第 51 回

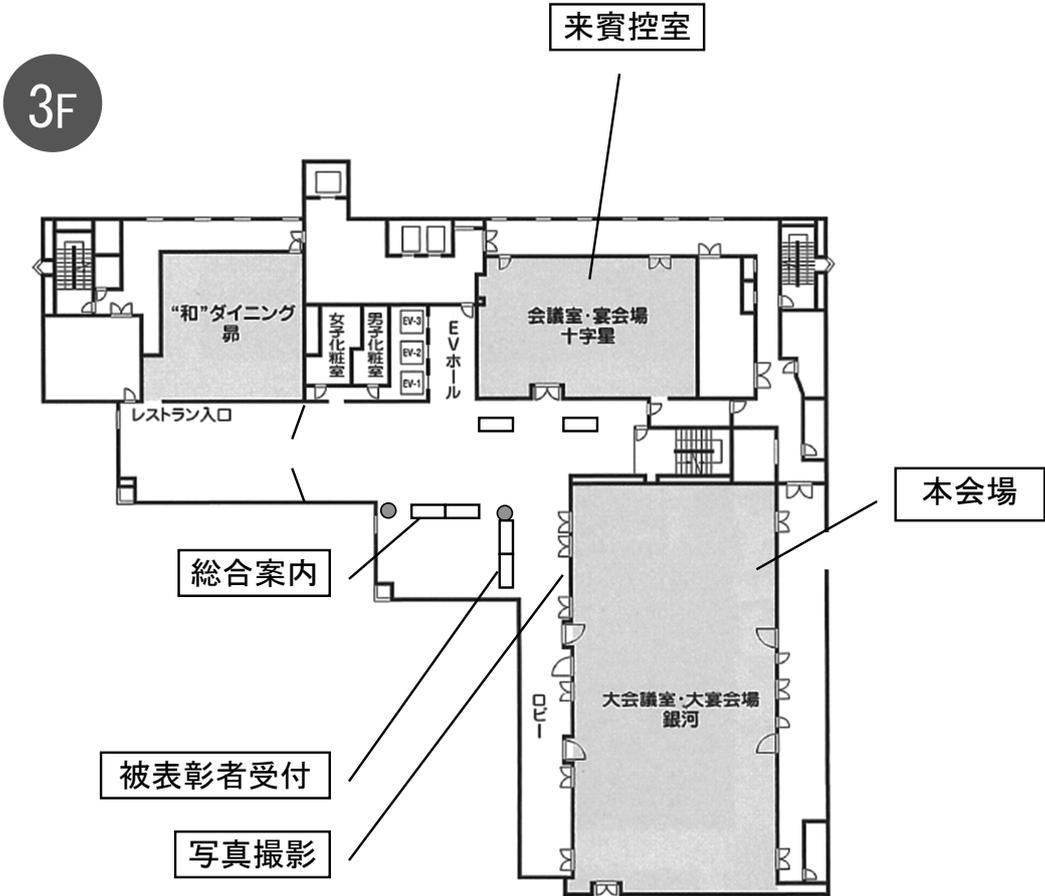
広島県国保診療施設地域医療学会

日 時 令和 7 年 8 月 30 日 (土)  
10時～16時30分

場 所 広島市文化交流会館  
(広島市中区加古町3-3)

広島県国民健康保険診療施設協議会  
広島県国民健康保険団体連合会

# 会場案内図



# 第51回 広島県国保診療施設地域医療学会

## 目 的

この地域医療学会は、国保診療施設をはじめ市町が設置する診療施設等の地域医療関係者の相互研鑽を図るとともに、住民の健康増進と地域医療の確保に寄与することを目的とする。

# 日 程 表

時 刻	行 事
9:30	受 付
10:00	開 会 主 催 者 あ い さ つ 広島県国民健康保険診療施設協議会 会 長 平 谷 祐 宏 第51回広島県国保診療施設地域医療学会 学 会 長 来 嶋 也 寸 無 来 賓 祝 辞 厚生労働省保険局国民健康保険課 課 長 唐 木 啓 介 広島県知事 湯 崎 英 彦 広島県大 学 医 学 部 長 志 馬 伸 朗 広島県医師会 会 長 松 村 誠 剛 全国国民健康保険診療施設協議会 会 長 小 野 剛
10:40	表 彰 式 招 待 講 演 「最近の医療と国民健康保険の動向について」 厚生労働省保険局国民健康保険課 課 長 唐 木 啓 介 (司 会) 全国国民健康保険診療施設協議会 会 長 小 野 剛
11:25 11:35	休 憩 ・ 会 場 準 備 学 会 長 所 感 「地域包括ケアシステムと中山間地域高齢者のウェルビーイング」 第51回広島県国保診療施設地域医療学会 学 会 長 来 嶋 也 寸 無
11:45	特 別 講 演 「ポスト2025年の地域包括医療・ケア」 全国国民健康保険診療施設協議会 会 長 小 野 剛 (司 会) 第51回広島県国保診療施設地域医療学会 学 会 長 来 嶋 也 寸 無
12:30 13:10	昼 食 ・ 休 憩 パ ン ェ ル デ ィ ス カ ッ シ ョ ン 「BCPと地域包括ケアシステムについて」 (発表者) 三 原 市 大 和 診 療 所 前 所 長 藤 家 証 一 ほっと・はあとステーションでのひら 居宅介護支援事業所でのひら 所 長 越 部 恵 美 県立広島病院 救命救急センター センター長 楠 真 二 (助言者) 広島県健康福祉局 局 長 北 原 加 奈 子 全国国民健康保険診療施設協議会 会 長 小 野 剛 (司 会) 北 広 島 町 雄 鹿 原 診 療 所 所 長 東 條 環 樹 安 芸 太 田 病 院 看 護 部 長 山 岡 由 香 里
15:15 15:25	休 憩 ・ 会 場 準 備 研究発表《口演発表5演題》 (座長) 公 立 世 羅 中 央 病 院 看 護 師 長 永 田 綾 子
16:25 16:30	閉 会 あ い さ つ 第51回広島県国保診療施設地域医療学会 副 学 会 長 東 條 環 樹

## 《第51回広島県国保診療施設地域医療学会表彰受賞者》

### 広島県国民健康保険診療施設協議会会長表彰

府中市立湯が丘病院	准看護師	丸山明代
府中市立湯が丘病院	看護師	明德孝昭
市立三次中央病院	主査・作業療法士	中井圭子
市立三次中央病院	主査・作業療法士	高橋直之
市立三次中央病院	主任・作業療法士	金藤彩加
市立三次中央病院	主任・放射線技師	平田 彰
庄原市立西城市民病院	理学療法士	岡井耕平
庄原市立西城市民病院	理学療法士	岡井香代子

## 《第50回広島県国保診療施設地域医療学会研究発表優秀賞》

### 最優秀賞

「看護職員による FIM を正確に採点することを目指して」

公立みつぎ総合病院 回復期リハビリテーション病棟

看護師 大村知子

### 優秀賞（2題）

「前頭葉機能と日常生活動作の将来性との関連について」

庄原市立西城市民病院 作業療法士 難波 諭

「脳卒中の予後予測 ～ FIM 予測式の有用性～」

公立みつぎ総合病院 理学療法士 三阪義貴

## 招待講演

### 「最近の医療と国民健康保険の動向について」

厚生労働省保険局国民健康保険課 課長 唐木啓介

(司会)

全国国民健康保険診療施設協議会 会長 小野剛

#### 講師紹介

厚生労働省保険局国民健康保険課 課長

唐木啓介 (からき けいすけ)

#### 【略歴】

平成13年4月 厚生労働省入省 (医薬局総務課配属)

その後、医薬局、職業能力開発局、老健局、政策統括官付社会保障担当参事官室、内閣府参事官補佐付参事官、大臣官房、保険局、医政局などを経て、

平成30年7月 厚生労働省大臣官房厚生科学課健康危機管理・災害対策室長

令和1年7月 厚生労働省大臣官房総務課企画官 (併：子ども家庭局、行政改革推進室)

令和1年9月 厚生労働省大臣官房付 (併：内閣官房) (命：西村国務大臣秘書官事務取扱)

令和2年8月 厚生労働省社会・援護局地域福祉課生活困窮者自立支援室長

令和4年7月 群馬県健康福祉部副部長 (感染症危機管理担当)

令和5年4月 群馬県健康福祉部長

令和5年9月 群馬県健康福祉部長 (兼：こどもまんなか推進監)

令和6年7月 現職

#### ※海外勤務

平成26年7月 外務省在タイ日本国大使館一等書記官

—MEMO—

## 学会長所感

### 「地域包括ケアシステムと中山間地域高齢者のウェルビーイング」

第51回広島県国保診療施設地域医療学会 学会長 來 嶋 也寸無

地域包括ケアシステムが提唱されて久しい。あらためて地域包括ケアシステムとは、高齢者や障害者などが住み慣れた地域で安心して生活を続けられるように、医療、介護、予防、住まい、生活支援をシームレス・包括的に提供する基盤のことである。これまで自治体や医療機関、介護施設、ボランティア団体などが地域住民のニーズに応じて連携しながら支援を行ってきた。しかしながら、実際の中山間地域の現場では、交通手段のない独居老人への対応や、老老介護の問題、また今後さらに認知症患者は増加すると予想され、課題は山積しており、高齢者一人ひとりの主観的な満足度や幸福度といった評価についてはいまだ発展途上と言わざるを得ない。そのなかで近年、様々な分野での「ウェルビーイング (well-being)」について注目が集まっている。

「ウェルビーイング」とは、直訳すると「よく+ある」であるが、「個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念」(厚生労働省 HP)として広まってきている。

これまで我々は病院、診療所、介護施設などそれぞれの立場から地域包括ケアシステムを実践してきたが、中山間地域における高齢者一人ひとりの主観的ウェルビーイングという角度から見てみることで、さらにきめの細かい地域包括ケアシステムを提供できるのではないかと提言したい。

—MEMO—

## 特別講演

### 「ポスト2025年の地域包括医療・ケア」

全国国民健康保険診療施設協議会 会長 小野 剛  
( 司 会 )  
第51回広島県国保診療施設地域医療学会 学会長 來嶋 也寸無

#### 講師紹介

#### 小野 剛 (おの つよし)

昭和32年 5月21日 生まれ  
市立大森病院長

#### 【経 歴】

昭和58年 自治医科大学医学部卒業  
昭和58年 秋田大学医学部附属病院 第一内科  
昭和60年 町立羽後病院 内科科長  
平成3年 秋田大学医学部附属病院 第一内科  
平成5年 秋田大学医学部 助手  
平成7年 秋田大学医学部附属病院 講師  
平成8年 町立大森病院 院長  
平成10年 大森町保健医療福祉総合施設「健康の丘おおもり」 管理者兼院長  
平成17年 市立大森病院 院長 (市町村合併により名称変更)  
現在に至る

#### 【表彰等受賞歴】

平成19年度 全国自治体病院協議会 へき地医療貢献者表彰  
平成21年度 山下太郎顕彰育英会 第18回山下太郎地域文化奨励賞  
平成23年度 住友生命社会福祉事業団 第4回地域医療貢献奨励賞  
平成26年度 読売新聞社 第42回医療功労賞  
平成28年度 国民健康保険関係功績者厚生労働大臣表彰

#### 【社会貢献活動等】

全国国民健康保険診療施設協議会 会長  
一般社団法人 日本地域医療学会 理事長  
自治医科大学同窓会 会長  
自治医科大学顧問指導委員会 委員  
秋田県病院協会 副会長  
全国自治体病院協議会 理事  
全国自治体病院協議会 中小病院委員会 委員  
秋田県医療審議会 委員  
秋田大学医学部 臨床教授  
東京医科歯科大学医学部 臨床教授

#### 【資 格】

日本内科学会認定医  
日本消化器病学会専門医  
日本肝臓学会専門医  
日本人間ドック学会専門医・指導医  
日本プライマリケア学会認定医・指導医  
日本医師会認定産業医・認知症サポート医

—MEMO—

## パネルディスカッション

### 「BCP と地域包括ケアシステムについて」

#### 【主 旨】

まだ記憶に新しい昨年の元旦に起きた能登半島地震では、国保診療施設も大きな被害を受けるとともに、職員自身も被災されながら施設に寝泊まりし地域医療の確保に懸命に対応された。

広島県内においても、平成30年7月の西日本豪雨災害及び令和2年からの新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、医療介護現場にも大きな影響を及ぼした。

毎年のように、全国各地で地震、豪雨、台風などによる災害が発生しており、また、国は、南海トラフ地震はいつ発生してもおかしくない状況としている。

このような状況の中、国保診療施設には、地域包括ケアシステムを機能させるため保健・医療・介護・福祉の連携に中心的な役割を果たす必要があり、大規模災害や新型コロナウイルス感染症の院内クラスター等の発生状況を鑑みると、BCPの重要性はさらに増しているところである。

今回のパネルディスカッションでは、「BCP と地域包括ケアシステムについて」をテーマに、現状と課題を明確にするとともに、大規模災害発生時において「地域包括ケア」を維持・充実させていくための工夫と今後の方向性についてディスカッションを行う。

## (発表者)

三原市大和診療所 前所長 藤家 証 一

ほっと・はあとステーションでのひら 居宅介護支援事業所でのひら  
所 長 越部 恵 美

県立広島病院 救命救急センター センター長 楠 真 二

## (助言者)

広島県健康福祉局 局 長 北原 加奈子

全国国民健康保険診療施設協議会 会 長 小野 剛

## (司 会)

北広島町雄鹿原診療所 所 長 東條 環 樹

安芸太田病院 看護部長 山岡 由香里

## 発表要旨①

### 「西日本豪雨災害におけるある無床診療所での経験」

三原市大和診療所 前所長 藤 家 証 一

大和町は三原市の西北部に位置し、町内を沼田川水系の棕梨川が流れる。その支流が合流する和木地域に複合施設である大和保健福祉センターがあり、大和診療所は保健・福祉部門と共にその一面を占める。2018年7月西日本を襲った豪雨により地域は浸水、土砂災害が多発し、交通・通信・水道などのインフラが寸断された。限られた資源と人員で医療を提供し、地域の医療ニーズにも対処した経験を報告する。

7月6日午後から本格的に降り出した雨は、夜になり強さを増し、20時25分大雨特別警報が発令された。7日未明には落雷を伴う豪雨となり停電と通信障害が生じた。夜明けに小降りとなり、自宅と近隣の状況確認、診療所職員の安否確認、施設機能の点検、センター内での情報共有を可及的に行った。また地域の避難所を訪問し、情報収集とともに医療ニーズに対応し、医療物資を提供した。インターネット・TVなどは機能せず、情報遮断に直面した。また夜には地域全域が断水となった。

当面の目標を『7月9日月曜からの診療所の再開』とした。交通状況の把握、職員の確保と水等資材の調達、薬局との連携を通じて目標を達成することができた。

その後約2週間断水が続き、暑さが最大の障害であった。外来や訪問診療では、通院患者の精神・身体的ケア、被災者の初診、他院通院者の転院などに対応した。その後、17日に光回線が、20日には給水と空調が復旧、7月26日に通常業務に戻った。

対応可能であった要因としては、1) 発災が金曜夜であった、2) 施設の直接被害がなかった、3) 停電が一時的であった、4) 職員や院外薬局が就業可能であった、5) 入院施設がなかったことが挙げられる。インフラの複数確保、地域共同体の維持の必要性を痛感し、複合施設の利点を再認識した。

当時、BCPの概念は念頭になかったが、災害対応を予め考え文書化し共有しておくことは有用である。災害は必ず起こるものと捉え、職員全員が共に考える作業過程にこそ策定の意義がある。

—MEMO—

## 発表要旨②

### 「在宅を支える介護支援専門員，訪問看護の立場から」

ほっと・はあとステーションでのひら 居宅介護支援事業所でのひら  
所長 越部恵美

平成30年7月豪雨災害，そして，令和2年からのCOVID-19のパンデミック，そして令和6年元旦に発生した能登半島地震等，近年の災害を考えると，自然災害や新興感染症等は，容赦なく私たちの生活を脅かしており，私たちはその状況に対応しながら対策を講じ業務を継続している。

当事業所のある呉市は，瀬戸内海に面した海と山に囲まれた中核市で，平成30年豪雨災害の時は，多くの陸路が寸断され海路が交通手段として活躍し，市外への通勤や物資の運搬にも活用された。日々の訪問看護においては，通常の訪問時間や経路の変更等により，ガソリン等限られた資源の中，訪問の調整を図った。また，断水の期間が長かったため，事業所からペットボトル等で水を運びながら，保清等のケアを行い，食事や水分の確保等の確認，体調管理等を行っていった。

介護支援専門員としては，日本介護支援専門員協会から広島県介護支援専門員協会を通して支援の派遣を受け，公衆衛生チームとして呉市と協働し，ローラー作戦で被災地域の安否確認や状況確認にまわった。受援者側の体制整備や心構え，そして受援から，徐々に役割を地域に移行していく流れ等，災害支援や復旧への取り組みについて，経験を通して多くの学びを得ることができ，現在の地域の体制づくりへの活動につながっている。

これらの経験を踏まえ，平時の準備や連携，そして地域全体で取り組むことで可能となる体制作りについて検討を重ね，呉市，地域包括支援センター，居宅介護支援事業所が，平時より情報発信訓練を毎月行っており，年に1回机上訓練も行いながら，自事業所がどのように業務を継続していくことができるか，地域との連携をどの様に図ることができるか検討している。

また，呉圏域の訪問看護ステーションでは，年に1回合同災害訓練を行い，取り組みについても管理者会議で検討を重ねている。BCPは自事業所だけでなく，地域も視野に考えていかなければならず，地域での取り組みは，ともに考え作り上げていかないと実行可能なものとならない。今年度は，訪問看護ステーション間の協定書の作成と稼働に動いており，これらの現在の取り組みや課題について報告したい。

—MEMO—

## 発表要旨③

### 「災害拠点病院の視点から」

県立広島病院 救命救急センター センター長 楠 真 二

医療機関は自ら被災することを想定して、災害対策マニュアルを作成するとともに業務継続計画（BCP）の作成に努めるよう、全医療機関および都道府県に対して2012年3月に厚労省医政局より通知された。災害拠点病院に対しては、BCPの整備がその指定要件とされ、2019年3月末までの策定が義務化された。

BCP策定においては、地域から自施設に求められている診療機能、地域防災計画の中での自院の役割を盛り込むべきとされている。また、災害急性期から亜急性期、慢性期への継ぎ目のない移行ができるように準備しておく必要がある。このことはすべての医療機関に共通の事項であるが、災害拠点病院は重症患者に対する救命救急医療等の診療機能を有し、被災地からの患者の受入れや広域医療搬送の対応を行う役割があり、医療圏単位、更には都道府県単位の視点が求められる。また、災害拠点病院はDMATを保有し、院内対応のみならず、院外での保健医療活動に派遣する体制を備えており、文字通り地域の拠点となって災害対応を行う役割を担う。

発災時の医療機関の対応としては、自院の被災状況を把握し、残存機能により①傷病者の受入れ、②籠城、③病院避難のいずれかを判断する必要があるが、特に災害拠点病院では、可能な限り傷病者の受入れができるよう、平時よりBCPに基づいた準備と訓練が必須となる。病院の被災状況は、広域災害救急医療情報システム（EMIS）により被災地内外に共有され、広島県では県庁に設置される県保健医療福祉調整本部、被災地を管轄する保健所等に設置される現地保健医療福祉調整本部、災害拠点病院等に設置されるDMAT活動拠点本部において、EMIS、災害診療記録/J-SPEED等により収集した情報を基に支援の方針が決定される。

災害時医療対応では、地域の医療機関、災害拠点病院、保健・医療・福祉の行政担当者、災害医療コーディネーター、小児周産期リエゾン、保健医療活動チーム等、多機関・多職種連携が必須であり、平時からのいわゆる『顔の見える関係』の構築が欠かせない。

—MEMO—

# 研究発表における演題及び演者

## 会場発表

### ○ 臨床に関するもの

	演 題	所 属	職	氏 名	発表要旨 ページ
1	地域医療を支える看看連携	地方独立 行政法人 府中市病院 機構府中北 市民病院	看護部長	徳 田 明 美	23
2	嚥下機能障害に対する当院の取り組み ～1症例を通じて～	庄原市立西 城市民病院	理学療法士	石 田 希	24

### ○ 臨床看護に関するもの

	演 題	所 属	職	氏 名	発表要旨 ページ
3	大腿骨近位部骨折の患者に対してスクリー ニングシートを用いた誤嚥性肺炎のリス ク評価 ～リスク評価で行う食事形態の 変更～	公立みつぎ 総合病院	看護師	澤 井 砂 璃	25

### ○ 臨床検査に関するもの

	演 題	所 属	職	氏 名	発表要旨 ページ
4	当院透析患者の定期ABI検査導入について	安芸太田 病院	臨床検査 技師	佐 藤 奈緒子	26

### ○ 診療施設の運営・管理に関するもの

	演 題	所 属	職	氏 名	発表要旨 ページ
5	地域枠医師による中山間地域中小病院に おける「数」の補充だけではない地域医 療改善の取り組み	公立世羅 中央病院	整形外科・ 医師	大 川 新 吾	27

## 収録発表

### ○ 臨床に関するもの

	演 題	所 属	職	氏 名	発表要旨 ページ
6	脳卒中の予後予測 ～ FIM 予測式の実用報告～	公立みつぎ総合病院	作業療法士	普 家 一 博	28

### ○ 診療施設の運営・管理に関するもの

	演 題	所 属	職	氏 名	発表要旨 ページ
7	病棟再編成による環境変化と患者不安に対する看護支援の在り方 — 3病棟女性病棟の患者を対象とした調査—	府中市立湯が丘病院	准看護師	久 保 好 美	29
8	虐待・不適切ケアに対する認識の現状	府中市立湯が丘病院	看護師	下 志 玲 子	30

### ○ 教育に関するもの

	演 題	所 属	職	氏 名	発表要旨 ページ
9	精神科における擦式手指衛生の啓発活動	府中市立湯が丘病院	看護師	八 木 伸 幸	31

### ○ 介護予防に関するもの

	演 題	所 属	職	氏 名	発表要旨 ページ
10	安芸太田町のいきいき百歳体操の取り組みについて — 高齢化率50%を超えた安芸太田町での検証—	安芸太田病院	作業療法士	小 田 将 之	32

○ 在宅医療・ケアに関するもの

	演 題	所 属	職	氏 名	発表要旨 ページ
11	訪問看護ステーションにおける災害時初期対応訓練の取り組みと効果	公立みつぎ総合病院	理学療法士	藤 本 光 理	33
12	訪問リハビリテーションの現状と取り組み	公立世羅中央病院	理学療法士	妹 尾 一 岳	34

○ 入院サービスに関するもの

	演 題	所 属	職	氏 名	発表要旨 ページ
13	医療現場における入院セットについて～導入してわかったこと～	公立下蒲刈病院	看護 師	高 明 菜	35
14	急性期リハビリテーション加算の取得率向上への取り組み	市立三次中央病院	技 師・ 理学療法士	大 倉 涉	36

○ 臨床看護に関するもの

	演 題	所 属	職	氏 名	発表要旨 ページ
15	スピリチュアルケアの実践力の向上を目指して	公立みつぎ総合病院	看護 師	福 田 麻 美	37
16	高度急性期病棟において、患者が不快に感じる音と看護師がとらえる不快な音の認識	市立三次中央病院	主任技師・ 看護 師	中 村 友 則	38
17	高齢初産で双胎妊娠した患者への授乳指導～妊娠期から関わり、母親にとって同時授乳が育児負担の軽減になることを目指して～	市立三次中央病院	主任技師・ 助 産 師	齋 藤 希 翼	39
18	申し送り短縮への取り組みと看護師の意識調査	安芸太田病院	准看護 師	川 本 賀 子	40
19	長期臥床状態の高齢患者に対する排便コントロール～小豆を使用した温罨法による便秘への効果～	公立世羅中央病院	看護 師	代 入 汐 理	41
20	ターミナル期におけるがん患者・家族とのかかわり	公立世羅中央病院	看護 師	清 原 芙 美 子	42

○ 臨床検査に関するもの

	演 題	所 属	職	氏 名	発表要旨 ページ
21	タッチングによる上部消化管内視鏡検査時の苦痛緩和効果の検討	公立みつぎ総合病院	臨床検査師 臨床検査技師	今 田 貴 也	43

○ リスクマネジメントに関するもの

	演 題	所 属	職	氏 名	発表要旨 ページ
22	当院透析室における Digital Transformation 化による効果について	安芸太田病院	臨床工学士 臨床工技師	坂 本 裕 一	44

○ その他本学会に関するもの

	演 題	所 属	職	氏 名	発表要旨 ページ
23	特別養護老人ホームにおける経管栄養管理入所者の必要エネルギー量について	公立みつぎ総合病院 保健福祉施設 特別養護老人ホーム「ふれあい」	管理栄養士	角 昌 子	45
24	精神科病院における虐待防止	府中市立湯が丘病院	看護師	若 林 政 公	46
25	継続看護における退院サマリーの活用について	庄原市立西城市民病院	看護師	森 本 幸 恵	47
26	診療記録の量的監査への取り組み	安芸太田病院	主事・診療情報管理士	満 山 大 輔	48
27	転倒・転落の発生事例から見る取り組み	公立世羅中央病院	医療安全管理部 安全管理部長	有 末 寛	49

## 〔研究発表視聴方法に関する案内〕

- 1 広島県国民健康保険診療施設協議会ホームページを開きます。  
<https://www.hiroshima-kokuhoren.or.jp/shinryo/>  
※ 広島県国民健康保険団体連合会ホームページ内にあります。
- 2 【第51回広島県国保診療施設地域医療学会専用ページ】を開きます。
- 3 「オンデマンド配信」ページをクリックします。
- 4 ユーザー名（gakkai51）とパスワード（gakkai51）を入力します。
- 5 各演題への質問について  
各演題へのご質問等については、こちらまでお願いします。  
後日、発表者から回答します。



※ 送付先  
広島県国民健康保険診療施設協議会事務局  
〒730-8503 広島市中区東白鳥町19-49  
(広島県国民健康保険団体連合会 保健事業課内)  
Eメール：jigyou@hiroshima-kokuho.jp

視聴可能期間は、令和7年8月30日（土）から10月31日（金）までです。  
視聴可能期間が過ぎた時点で、すべての動画を削除します。  
なお、動画は視聴のみ可能で、ダウンロードはできません。





















































